

## T 経営感覚人材育成コース群

## 概要

T 経営感覚人材育成コースは、

- ・ T01：知財変革リーダー育成研修
- ・ T02：知財戦略スタッフ育成研修
- ・ T03：企業若手知的財産要員育成研修

とで構成されております。

これらの特別コースは、各研修を通じて、次のような人物像の「知財変革リーダー」と「知財戦略スタッフ」を育成しようとするものです。

## 知財変革リーダー人物像

- ・ 経営に資する知財活動を行うためのビジョンやコンセプト作りができる「提言」型の人材であり、その提言を実行する力を持つ。
- ・ グローバルな経済、政策、知財に対する深い理解を有する。
- ・ 高い志しを持ち、専門的知識の上に幅広い教養を備え、グローバルなスタッフを束ねる人間的魅力を備える。

## 知財戦略スタッフ人物像

- ・ 知財リーダーを支える知財戦略スタッフは、複数の専門領域を理解でき、アプローチやツールを自ら選択できる「課題解決」型の人材である。
- ・ 知財戦略スタッフは、複数の専門家の専門知識を共同の課題に向けて結合し、解決のための創造的な解決策を導き出し、その解決策に基づいて実行できる人である。
- ・ 自らの狭い専門知識を知識全領域の中に正しく位置付けられるゼネラリストでもある。

従って、これらのコースでは、他の研修コースと異なり、宿泊研修を含む長期間の研修であり、また求める研修の成果も異なっております。

募集については、開催時期に応じてご案内いたします。

## ご参考

益々充実した特別コースのポイント！

## T01「知財変革リーダー育成研修」

より充実した検討＆討議を狙い、来年度は研修期間を1ヶ月延長します！

## T02「知財戦略スタッフ育成研修」

座学の知識の深化を狙い、特別ラウンド（経営シミュレーション、ボードゲーム）を来年度から必修化します！（札幌にて開催）

## T03「企業若手知的財産要員育成研修」

研修生相互のより活発な議論を狙い、中間・最終発表を東西合同開催します！

<b>特別</b>	研修会場:レクトーレ湯河原(TKPホテル)・日本知的財産協会	募集定員:15名 (論文選考あり)
<b>T01</b>	<b>知財変革リーダー育成研修</b>	2018年5月 募集開始予定
		*詳細は別途ご案内

※受講料は18万円の予定です。

## 概要

### 1. 研修目的

「経営に資する知財」を自ら提案/実践できる人材(知財変革リーダー)を育成する。

### 2. 育成をはかる能力

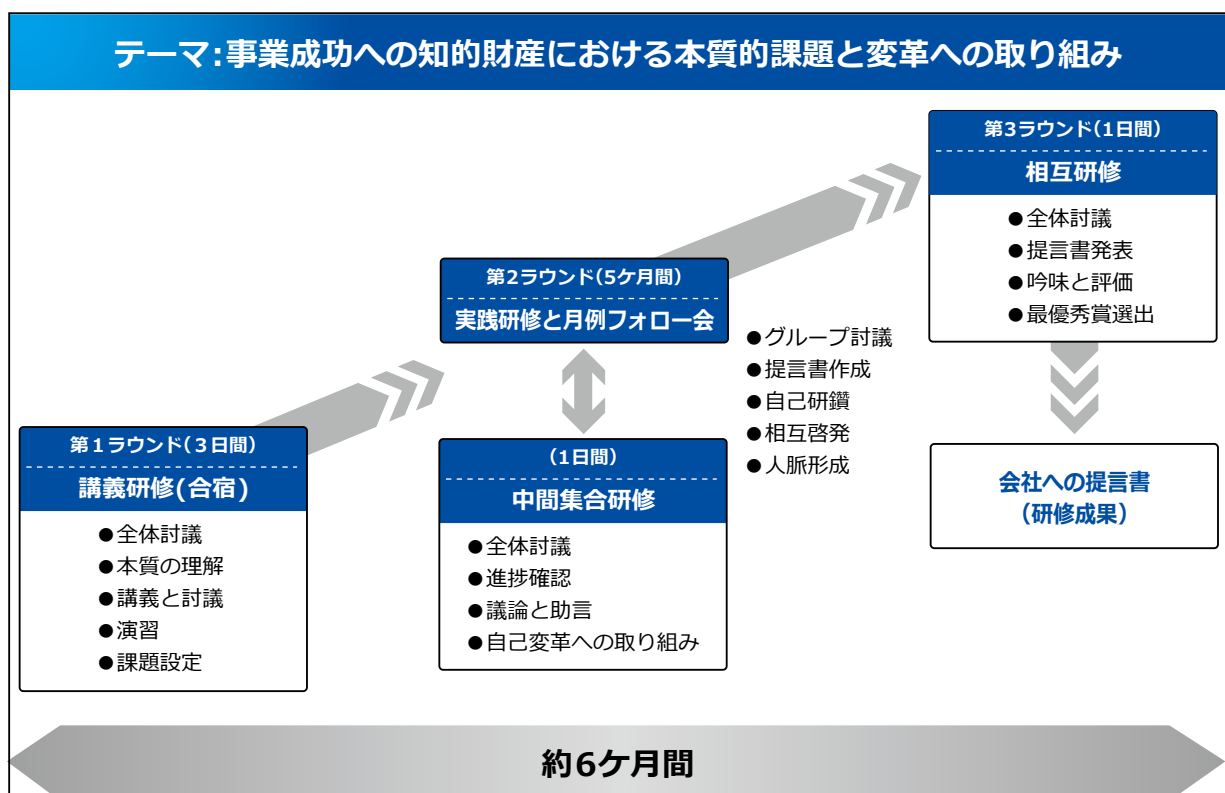
- ・自社及び自社グループ会社の経営に貢献する知財戦略を提言し実践する力(戦略立案実行力)
- ・知財・経済・政策に関する情報を収集、把握、整理し、知財マネジメントに活用する力(市場把握力、情報収集力)
- ・周囲の共感を得ながら変革を実践できる人間的魅力

### 3. 研修の特徴

- 1) 「事業成功への知的財産における本質的課題と変革への取り組み」をテーマとする、会社への提言書を作成する。
- 2) 研修生自身が講義の受講、研修生同士の討議、日頃の会社業務を通じて自己研鑽する、自己啓発型研修である。
- 3) 様々な業種で知財業務に携わる研修生同士が企業の枠を超えて議論する。
- 4) 企業や大学等の第一線で活動している経験豊富な講師の講義を直接受ける。

### 4. 研修の進め方

この研修は、約5ヶ月にわたり、次に示す3ステップで行います。



### 5. 研修のアウトプット

知財変革ビジョンとしての「会社への提言書」

### 6. 研修修了基準

研修への出席率と提言書の出来栄の合計評点が基準点以上である場合に修了とします。

	開催日	会場	研修内容
第1ラウンド	2018年 9月6日(木)~8日(土)	レクトーレ湯河原(TKPホテル)	「会社への提言書」作成に必要な 考え方や知識の習得
第2ラウンド	2018年9月~2019年2月		「会社への提言書」作成
	2018年11月30日(金) 予定	日本知的財産協会	中間フォロー会
第3ラウンド	2019年2月27日(水) 予定	日本知的財産協会	「会社への提言書」の発表と修了式

申込コード：T01-T1

## 受講者の声

- ・経営観点の研修なので、大局的なものの見方が養われました。
- ・他業種の方々と交流ができ、様々な事業環境、社風の中での知財活動を知ることができました。

特別

研修会場:日本知的財産協会、小樽商科大学札幌サテライト

募集定員:30名  
(論文選考あり)

T02

## 知財戦略スタッフ育成研修

2018年4月  
募集開始予定

\* 詳細は別途ご案内

※受講料は18万円の予定です。

### 概要

#### 1. 研修目的

知財部門のビジョンに対して、具体的な課題及び課題達成のための創造的な方策を提言できる人材を育てる。

#### 2. 知財戦略スタッフが持つ資質

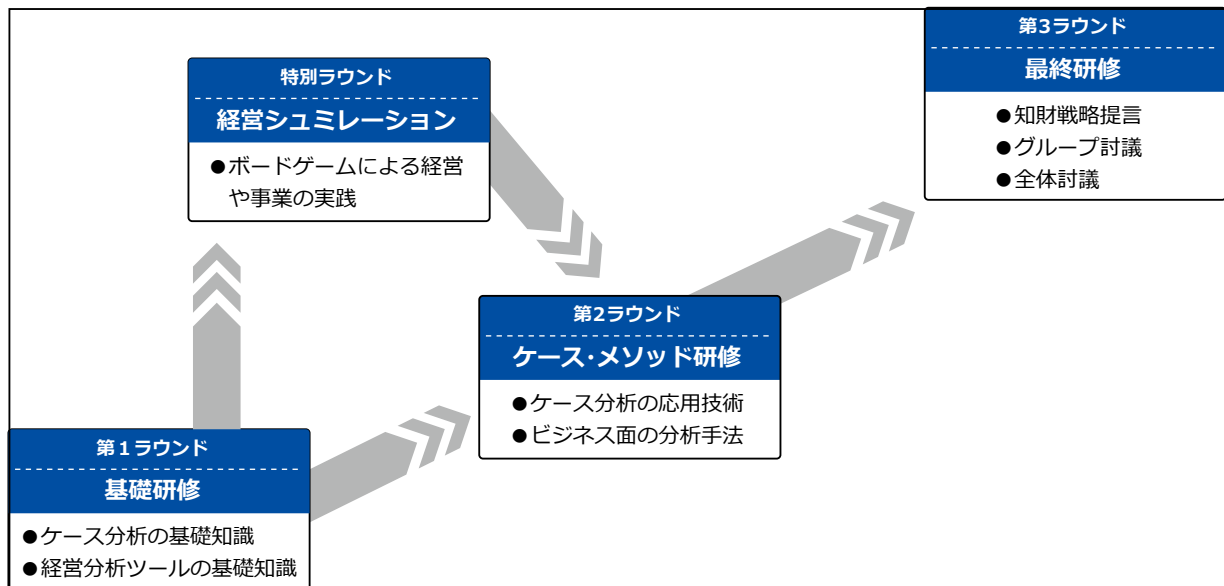
- ① 知財部門のビジョンを実現する上での問題点の把握および課題設定ができる。
- ② 解決のためのアプローチやツールを自ら選択できる。
- ③ ①と②により、課題に対して、創造的な解決策を導き出すことができる。

#### 3. 育成研修の特徴

- ① 経営学の分析手法の基礎を学ぶとともに、分析ツールの基本を学ぶ。
- ② ケース・メソッドを通して、研修生間の相互啓発によって、深い気づきを得て、自らのものの見方や考え方を身につける。
- ③ 大学や企業から選出した優秀かつ経験豊富な講師が指導する。

#### 4. 研修の進め方

この研修は、約3ヶ月にわたり、次に示す4ステップで行います。



#### 5. 育成研修の成果

知財部門のビジョンに対して具体的な課題及び課題達成のための創造的な方策を提言できる能力を身につけている。

	研修期間	会場
第1ラウンド	2018年8月28日(火)～29日(水)	日本知的財産協会(予定)
特別ラウンド	2018年10月13日(土)～14日(日)	小樽商科大学札幌サテライト
第2ラウンド	2018年10月23日(火)～24日(水)	日本知的財産協会(予定)
第3ラウンド	2018年11月19日(月)～20日(火)	日本知的財産協会(予定)

申込コード：T02-T1

- 1) 第1ラウンドの学習効果向上を目的として、第1ラウンド終了後に、札幌で開催される特別ラウンド（ボードゲームによって企業経営の模擬体験を行い、経営力と会計力を鍛える「経営シミュレーション」）に参加して頂きます。詳細は、後日配布される募集要項で御確認下さい。
- 2) 研修会場が、都合により変更となる場合があります。詳細は、後日配布される募集要項で御確認下さい。

#### 受講者の声

- ・ケース・メソッドを通じて、経営戦略をもとにした知財戦略の立て方が理解できた。
- ・学んだケース分析方法を、実際の自社の状況、事業戦略に当てはめて、分析、戦略づくりを試してみたい。

<b>特別</b>	研修会場: 日本知的財産協会	募集定員 関東30名、関西20名
T03	<b>企業若手知的財産要員育成研修</b>	
		<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;">2018年4月 募集開始予定</div> <small>* 詳細は別途ご案内</small>

※受講料は6万円の予定です。

## 概要

### 1. 研修目的

研究テーマを設定し、受講者が相互学習により調査・研究・発表などの実践を行い、「学び方」を学ぶ。研究内容については、専門委員会の協力を得ております。

### 2. 研修の進め方

	研修内容
1回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション：開講の趣旨と研修の進め方</li> <li>・講義：「知的財産要員の今日的課題」 今後の進め方：グループ分け、グループ研究課題の選定、役割分担等</li> <li>・懇談会</li> </ul>
2回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ研究課題の解説講義 【講師】 専門委員会派遣講師</li> <li>・グループ討議</li> </ul>
3回目	<グループ研究課題に対する自主研修>
4回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ討議：研究課題検討、議事録作成</li> </ul>
5回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ間交流ミーティング：研究課題についてグループ毎に進捗状況報告と全体討議（関東・関西合同の中間発表を第4回目に予定）</li> </ul>
6回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ成果報告書の作成</li> </ul>
7回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ成果報告（関東・関西合同の予定）：グループ成果発表、質疑応答 【講評】 専門委員会委員長、専門委員会派遣講師他</li> <li>・個人成果報告：個人成果発表、質疑応答、講評</li> <li>・総括講評：知財協役員</li> <li>・懇談会</li> </ul>

\* 追加研修を行い、研修回数が増える場合があります。詳細は、後日配布される募集要項で御確認下さい。

### 3. 研究課題

専門委員会より提示されるグループ研究課題（後日配布される募集要項に過去の課題を記載）よりグループ毎に第1回目の研修で選定。

## 受講対象者

企業の若手知的財産実務担当者で、実務経験3年経過程度（25歳～35歳程度）

	研修期間	会場
関東	2018年7月～2019年2月	日本知的財産協会
関西	2018年7月～2019年2月	日本知的財産協会 関西事務所

<関東> 申込コード：T03-T1 <関西> 申込コード：T03-K1

「中間発表」と「最終発表」は東西合同開催となり、東京で開催の予定です。詳細は、後日配布される募集要項で御確認下さい。

#### 受講者の声

- ・ 普段の業務ではあまり触れない判例や参考資料を読む機会を得ることができ、進歩性に対する理解が深まった。(国内特許)
- ・ 共同開発契約に関して、他業種の方の意見を聞くことができ、大変参考になった。(契約)
- ・ 他社の方々と、限られた時間でうまく議論を進行させ、妥当な結論へと着地させることについて学ぶ点が多かった。
- ・ 同年代のメンバーと、普段の知財業務における悩みが共有できた。